



鶴田町長
相川 正光

年頭にあたって

明けましておめでとうございます。謹んで年の初めのお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、物価やエネルギー価格の高騰が続き、家庭の暮らしや事業者の経営に大きな影響が及びました。町では、水道の基本料金の免除など、町民生活を守るための取り組みを進めて参りましたが、本年も引き続き、物価高騰の影響を最小限に抑えるため町民に寄り添った施策を強化し、安心して生活できる環境づくりに努めて参ります。

また、気候変動を要因とする人里への熊出没のほか果樹への有害鳥獣の被害が全国的に増加し、当町においても課題となっております。町では、鳥獣被害対策実施部隊を設置し、狩猟免許取得費助成事業の実施など対策を講じて参りましたが、本年は県や関係機関と連携し、さらに効果的な対策を検討して参ります。

鶴の舞橋については、令和5年度から3か年にわたり大改修工事を実施して参りましたが、3月末ですべての工事が完了する予定で

す。4月には鶴の舞橋改修工事完成記念式典を開催し、通年で渡ることができるようになったことをPRすることで、観光や地域振興のさらなる活性化につなげて参ります。

中学校改修事業については、令和4年度から進めてきた外部改修工事を終え、令和7年度からは新たに校舎へのエレベーター設置に向けて行ってきた実施設計も完成することから、来年度にはエレベーター設置工事に着手し、バリアフリー化を推進することで次代を担う子どもを育成する義務教育環境の充実を図って参ります。

当町に移転して3年目となる下山学園高校は、つるたまつりへの参加をはじめ、昨年は「ふるさと自慢わがまちCM大賞」の製作に挑戦するなど、町の魅力発信にも積極的に取り組んでくださいました。町としても、今年4年目に入る地元の高校であり、大巻出身の故下山弘氏が創設した下山学園高校に対し、連携を図りながら支援を継続して参ります。

旧水元中央小学校を活用した地域活性化センター「ツルタラボ」は、開設から1周年を迎え、地域住民や事業者、学生など多くの方々

の交流と挑戦の場として利活用が進んでいきます。今後も、様々な活動が育まれる拠点として、さらなる活用を図って参ります。

フードリバー市との姉妹都市締結については、令和9年度に50周年を迎えるため、その年の記念事業としては記念誌製作や親善訪問などを予定しております。本年はその50周年記念事業に向けての機運を醸成していくため、様々な場面で町内外に向けて情報発信し周知していくこととしております。

本年も、町民の皆さまと共に知恵を出し合い、新たな地方創生施策をはじめ、未来に繋がる分野での取り組みを進めるとともに、まずは、物価高騰対策を最優先に取り組みながら、「若い世代から選ばれるまちづくり」の実現を目指して、誠心誠意努力して参りますので、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありませうお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



鶴田町議会議員長
加賀谷 忠榮

初春を迎えて

明けましておめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまには、希望あふれる輝かしい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に對しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、記録的な大雪に始まり、夏は真夏日が23日続いた記録的な猛暑。そして年末には青森県東方沖地震により震度5弱の強い揺れを観測しましたが、幸いにも町民の皆さまが無事であったことは、何よりございました。

町の基幹産業の農業ではありますが、コメについては、高温障害などの被害は限定的であったものの、田植え期以降の低温の影響により、「コメの出来具合を示す新しい指標「作況単収指数」は津軽で98となり、平均をやや下回る収量となりました。価格は「令和のコメ騒動」と騒がれた前年から続く高騰により、政府が備蓄米を放出するなど対策をしましたが、コメの店頭販売価格は依然として高値が

続いております。つがるに起きた農協におけるコメの生産者概算金についても、「まつしぐら」「はれわたたり」が3万円、「青天の霹靂」が3万4千円で過去最大を記録しております。

りんごについては、雪害や干ばつなどの影響に加え、カメムシや鳥による被害などもあり、収穫量は減少となる見通しであります。仕上がりは良好とのこと、前年以上に高値傾向で取引されております。

スチューベンについては、猛暑や雨不足の影響が心配されましたが、糖度が十分に乘った上出来な仕上がりだと聞いております。

町のシンボル「鶴の舞橋」ですが、3か年にわたる大規模改修工事が最終年度となり、今年の春には生まれ変わった「鶴の舞橋」でたくさんのお観光客をお迎えし、賑わいをみせてくれるものと期待をしております。

また、地域活性化支援センター「ツルタラボ」(旧水元中央小学校)では、多種多様な企画イベントが開催され、町内外から多くの方々を訪れるなど、町活性化の一翼を担う施設となっているところであります。

そして、昨年日本各地を騒がせたのが、ク

マであります。当町でも、富士見湖パークや旧幸樹園付近にクマが出没しましたが、町民の皆さまが安心安全な生活を送っていく上で、クマ対策は今後ますます重要になってくるものと思っております。

町議会は、加速するデジタル化社会に対応すべくタブレット端末を利用した会議を推進するほか、住民の代表機関として開かれた議会を目指し、町広報誌に定期的に議会活動報告を掲載するなど、積極的な情報発信に取り組んでおります。現在は、インターネットを活用した議会の動画配信についても計画を進めており、今後も行政への監視機能の役割を十分に果たしながら、町民の皆さまの意思を町政に反映させるため、議員一同全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、本年が町民の皆さまにとりまして健やかで実り多き一年となりますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたしま